公益社団法人米子広域シルバー人材センター
令和7年度第1回理事会議事録

- 1 招集日時 令和7年5月15日(木)午後1時30分
- 2 招集場所 米子市シルバーワークプラザ・多目的ホール(2階)
- 3 出席した理事(13名)及び監事(1名)
理 事 長(代表理事) 松岡 勉
副理事長(代表理事) 矢倉 英雄
専務理事 先灘 匡
理 事 田後 良文 塚田 容子 橋田 和久 近藤 均
亀岡 吉郎 増田 廣利 伊藤 正之 神庭 智恵子
岩川信一郎 崎谷 誠二
監 事 吉津 秀樹
- 4 欠席した理事(1名)
理 事 河上 丈二
- 5 議事録の作成に係る職務を行った理事
専務理事 先灘 匡
- 6 出席した事務局職員
主任 大久保 貴
- 7 議事録署名人
理事長(代表理事) 松岡 勉 副理事長(代表理事) 矢倉 英雄
監 事 吉津 秀樹
- 8 開会 午後1時30分
- 9 議事の結果及び経過の概要

●報告事項

(1) 理事長等の職務執行状況について(令和7年3月25日以降)

○松岡議長(理事長) 次に、3 報告事項、(1) 理事長等の職務執行状況について、事務局から説明をお願いします。

○先灘事務局長 理事長等の職務執行状況について、令和7年3月25日以降の執行状況の報告となります。

まず、黒丸のものは、鳥取県シルバー人材センター連合会関係の執行状況です。

次に、月ごとの主な内容を御報告します。

まず、3月は、28日に令和7年度事業計画書等を鳥取県に提出、31日に令和6年度補助事業等完了届出書を米子市に提出しました。

次に、4月は、1日に、新規入会説明会、辞令交付、令和7年度補助金等交付申請

書を米子市に提出、8日に令和6年度国庫補助金実績報告書を提出。10日に令和6年度補助事業等実績報告書を米子市に提出。24日に理事・監事候補者選考委員会が開催され、次期理事・監事候補者の総会推薦が決定されました。

次に、5月は、1日に監査会の開催、7日に第1回理事懇談会を開催しましたが、矢倉副理事長は欠席されましたので、削除し訂正をお願いします。8日に令和7年度国庫補助金交付申請書を提出し、本日15日に第1回理事会の開催ということになります。以上が職務執行状況の報告です。

○松岡議長(理事長) 説明は終わりました。質疑はございますか。

(質疑なし)

○松岡議長(理事長) ないようですので、次に移ります。

(2) 新規入会正会員について

○松岡議長(理事長) 次に、(2) 新規入会正会員についてを議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○先灘事務局長 新規入会正会員については、定款第6条により、理事長の承認を受けた後に、理事長は次回の理事会に報告するという規定がありますので、今回報告します。

3月4日から5月2日までの入会についての報告です。この期間に入会された方の氏名等は一覧表のとおり、合計18人の入会がありました。うち男性が8人、女性が10人です。

また、令和6年度当初の523人から令和6年度末が519人となり、4人の減となりました。うち入会が64人、退会が68人です。なお、5月2日現在で488人です。

令和6年度の月別の会員入退会状況は表のとおりとなります。説明は以上です。

○松岡議長(理事長) 説明は終わりました。質疑はございますか。

(質疑なし)

●決議事項

第1号議案 職員就業規則の一部改正について

○松岡議長(理事長) 次に、4 決議事項、第1号議案 職員就業規則の一部改正についてを議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○先灘事務局長 第1号議案 職員就業規則の一部改正については、育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律(育児・介護休業法)の改正に基づき、職員就業規則に規定されています子の看護休暇について一部改正するため、理事会の決議を求めます。

まず、子の看護休暇の対象となる子の範囲を小学校就学の始期に達するまでから

小学校3年生修了までに拡大するものです。次に、子の看護休暇の取得事由について、病気・けがによる世話、予防接種・健康診断を受けることに加え、感染症に伴う学級閉鎖等による世話、入園(入学)式及び卒園式への参加に拡大するものです。次に、「子の看護休暇」から「子の看護等休暇」に名称変更するものです。最後に、この規則は、令和7年5月15日から施行し、令和7年4月1日から適用しようとするものです。

説明は以上です。

○松岡議長（理事長） 説明は終わりました。質疑等がございましたらお願いいたします。

（質疑なし）

○松岡議長（理事長） それでは、本件について、原案のとおり、可決することに御異議ございませんか。

（異議なし）

○松岡議長（理事長） 御異議ございませんので、本件については、原案のとおり可決いたします。

第2号議案 職員育児・介護休業規程の一部改正について

○松岡議長（理事長） 次に、第2号議案 職員育児・介護休業規程の一部改正についてを議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○先灘事務局長 第2号議案 職員育児・介護休業規程の一部改正については、育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律(育児・介護休業法)の改正に基づき、職員育児・介護休業規程を一部改正するため、理事会の決議を求めるものです。

まず、育児のための所定外労働の制限(残業免除)の対象となる子の範囲を3歳に満たない子から小学校就学前までの子に拡大するものです。

次に、2 事業主は、3歳から小学校就学前の子を養育する労働者に対して、職場のニーズを把握した上で、記載の5つの中から2つ以上の措置を選択してフルタイムでの柔軟な働き方を講じなければならないため、当センターでは実施可能な(1)と(5)を規定することとします。

(1) 始業時刻等の変更として、1日の所定労働時間は変更しない時差出勤制度。

(5) 1日の所定労働時間を原則6時間とする措置を含む短時間勤務制度の対象となる子の範囲を3歳に満たない子から小学校就学前までの子に拡大するものです。

最後に、この規程は、令和7年5月15日から施行し、令和7年4月1日から適用することとします。ただし、第11条の2については、令和7年10月1日から施行するものです。

説明は以上です。

○松岡議長（理事長） 説明は終わりました。質疑等がございましたらお願いいたします。

(質疑なし)

○松岡議長(理事長) それでは、本件について、原案のとおり、可決することに御異議ございませんか。

(異議なし)

○松岡議長(理事長) 御異議ございませんので、本件については、原案のとおり可決いたします。

第3号議案 令和6年度収支補正予算書(通年)について

○松岡議長(理事長) 次に、第3号議案 令和6年度収支補正予算書(通年)についてを議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○先灘事務局長 第3号議案 令和6年度収支補正予算書(通年)については、本年3月に開催された令和7年度第3回理事会において決議された3月収支補正予算の内容と同じですが、通年分ということで今回提案したものです。決議された場合は、本年度の定時総会において報告することになります。

その内容については、全て令和6年度の実績見込みにより補正したもので、経常収益については、労働者派遣事業等受託収益を92万円の増額補正を、経常費用についても同額を増額補正したものです。説明は以上です。

○松岡議長(理事長) 説明は終わりました。質疑等がございましたらお願いいたします。

(質疑なし)

○松岡議長(理事長) それでは、本件について、原案のとおり、可決することに御異議ございませんか。

(異議なし)

○松岡議長(理事長) 御異議ございませんので、本件については、原案のとおり可決いたします。

第4号議案 令和6年度事業報告書及び収支決算書について

○松岡議長(理事長) 次に、第4号議案 令和6年度事業報告書及び収支決算書についてを議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○先灘事務局長 次に、第4号議案 令和6年度事業報告書及び収支決算書について説明します。まず、事業報告書についてですが、1概況については、当センターにおいては、社会経済情勢の変化により依然として会員数や受注件数が減少するなど様々な影響が続いています。そこで、令和6年度重点項目・事業実施計画に基づく実施内容などから今後の課題が見えてきました。詳細については、3 令和6年度重点項目・事業実施計画の実施内容で説明します。

次に、2 令和6年度事業の基本目標達成状況については、正会員は目標未達成と

なりました。会員数の減少が続いています。次に、受託事業(請負)については、全て未達成となりました。派遣事業については、企業等の人手不足等により新規発注増により前年度実績を大幅に上回りました。

次に、3 令和6年度重点項目・事業実施計画の実施内容についてですが、まず、(1)会員の拡大の取組みについて、「年齢別・男女別会員登録状況」を御覧ください。

60歳以上の人口は減少に転じましたが、定年延長や雇用継続の延長など企業等で働く高齢者が増加しています。退会者数は前年度と比較し11人減少し68人、入会者数は前年度と比較し8人減少し64人となり、今年度末の会員数は、前年度末の523人から4人減少し519人となりました。また、会員登録年齢が75歳を、新規入会者の年齢も72歳を超え、当センターの会員の高齢化がさらに進んでいます。70代の会員が約6割を占めています。また、60歳以上の人口に対する会員の割合、粗加入率は概ね1%となります。また、入会者の動機、退会者の理由を掲載しています。

①センター事務局と会員が一体となった組織的な会員入会活動の取組みとして、会員の紹介による入会申込みが19名あり、今後もセンター事務局と会員が一体となった新規入会者増加策を講じていきたい。③の退会抑制については、就業のマッチングの強化に努めた結果、「就業機会がない」、「センターに対する不満」など、センターの責めによる退会者数が前年度の14人から6人に減少したので、引き続きその強化に努めていきたい。

次に、(3) 安全・適正就業の更なる推進については、会員の高年齢化、作業中の事故の発生状況を踏まえ、「安全はすべてに優先する」を大前提に、危険な作業に対する防護物品の導入、事務局だより及び安全就業ニュースを通じて作業中の事故情報を共有するなど、安全就業の徹底に向けた取組みを図った。また、③ 委員会活動等を通じた安全・適正就業の周知徹底として、安全管理委員会、職能班班長会議を開催し、連合会の安全・就業指導員の指導を仰ぎながら安全・適正就業の周知徹底を行ってきましたが、傷害・賠償事故の発生が、傷害事故9件、賠償事故7件と大幅に増加しました。事故が発生した時には、その状況報告を事務局だよりなどに掲載するほか、各職能班長に注意喚起しました。さらに、植栽・除草班作業員全員を対象とした安全・適正就業の講習会を開催し、安全・適正就業の周知徹底を行い傷害・賠償事故の撲滅を図りたいと考えています。

次に、(4) 就業機会の維持・拡大、多様な就業機会の確保・創出及び魅力あるセンターづくりについては、シルバー派遣事業について、インボイス制度の影響を受けにくく、高齢化や労働力人口の減少が進行する中、多くの業種における人手不足分野において、その担い手としての活躍が期待されており、マッチングの強化により大幅に改善しました。詳細は、「職群別・発注先別事業実績一覧表」のとおりですが、受託事業については、主に個人・家庭からの受注が約400件減少しましたが、事務費率の改定により事務費が約380万円大幅に増加したため、契約金額は約150万円、0.88%の減少に留まりました。次に、派遣については、受注件数、契約金額とも増加し、契約金額は約13%増加しました。

次に、(5) シルバー事業の事務改善・効率化の取組みについては、②受託先別事業実績から見て、公共からの受注実績がセンター全体の契約金額の7.4%と他のセンターと比較し依然として低い水準です。米子市及び日吉津村に対し新たに事業を始める際には、受注先の一つに加えていただくよう要望活動を行い、今年度の公共部門の契約金額は前年度と比較し10.7%増加しました。

次に、(8) シルバー事業(請負・委任)における契約方法の見直し方針等の検討として、連合会主催及び NRI 主催による研修会への参加、県内4市SC事務局長会議での意見交換、新契約方法に係る利用規約等の調整・協議を行い、新契約にスムーズに移行できるよう準備を進めました。

最後に、(9) フリーランス法への適切な対応として、フリーランス法及びその政省令並びにフリーランスとして安心して働ける環境を整備するためのガイドラインに則って、11月1日から就業条件の明示等の確実な履行を図り、また、それを履行するため業務のデジタル化を推進しました。

次に、4 令和6年度理事会の開催状況、5 規程の改正状況については、過去の理事会で決定したものですので割愛します。

次に、6 その他、(1) 米子市シルバーワークプラザ指定管理業務については、令和6年度は、ふれあいの里の利用可能会議室が増えたため、市のワークプラザの利用が減少しました。

次に、(2) 配分金等見積基準単価の改定等として、① 令和6年10月5日から鳥取県最低賃金の時間額が900円から957円(6.33%増)に改定されたことに伴い、令和6年度第2回理事会(令和6年10月9日開催)において、「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」及び「配分金規約」の規定を参考に、配分金等見積基準単価の時間額の最低額を現行の900円から960円に改定しました。施行は令和7年4月1日としました。

次に、② 班長及び高い技能や経験年数を考慮した配分金等見積基準単価の設定として、最低賃金の改定に伴う配分金等見積基準単価等に100円を加算したものとしました。施行は令和7年4月1日としました。

次に、(3) 役員等賠償責任保険の加入について、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第118条の3の規定に基づき、当センターが締結する役員等賠償責任保険契約の内容について、3月24日に開催された第3回理事会において決議されました。

次に、役員表彰について、表彰規程第8条の規定により、3月24日に開催された第3回理事会において決議され、3月26日に理事長が感謝状等を役員表彰該当者の森 和昭 氏に伝達しました。

事業報告書の最後に、(5) 公益法人法の改正が令和7年4月1日に施行されました。主な改正内容としては、ア 財務規律の柔軟化・明確化として、収支相償から中期的収支均衡に改正となり、黒字は過去の赤字と通算して5年間で解消することとなりました。次に、ウ 自律的ガバナンスの充実、透明性向上として、法人、センターの会

員ではない外部理事・監事を最低1名ずつ設置することと理事－監事間で特別利害関係がないことが義務付けられました。

以上が事業報告書の説明となります。

次に、収支決算書に入ります。まず、貸借対照表についてです。

まず、Ⅰ資産の部、2.固定資産、(1)特定資産、退職給付引当資産として48万円積み立てました。次に、(2)その他の固定資産として、車両運搬具として軽貨物自動車を購入し1,126,645円を計上しています。資産合計が49,103,308円です。

次に、Ⅱ負債の部、2.固定負債として、退職給付引当金を資産の部で計上した退職給付引当資産と同額の48万円を計上しました。

この結果、正味財産合計は、1,288,906円増加し、22,445,644円となりました。

次に、正味財産増減計算書については、まず、経常収益は合計123万円余り減少しました。その主な内訳は、受取事務費が380万円余り、労働者派遣事業等受託収益が86万円余り増加し、受取配分金、受取材料費等が532万余り、受取補助金が52万円余り減少しました。

一方、経常費用は合計112万円余り減少しました。その主な内訳は、支払配分金、支払材料費等が474万円余り減少し、給料手当、諸謝金などの人件費が定期昇給、給料表の改定、臨時職員の採用などにより227万円余り増加しました。また、租税公課が消費税の仕入税額控除が一部できなくなり152万円余り増加しました。また、受取配分金の回収が困難な9件について貸倒損失を22万円余り計上しました。

その結果、当期経常増減額は前年度と比較し10万円余り減少しましたが128万円余りの剰余金が発生しました。

次に、正味財産増減計算書内訳表は、シルバー人材センター事業と指定管理事業会計を合わせた公益目的事業会計と、それ以外の法人会計を分けて集計した内訳表ですので、説明は割愛します。

次に、財務諸表に対する注記です。これは貸借対照表、正味財産増減計算書で説明しましたので割愛します。

次に、財産目録については、貸借対照表に説明を加えた詳細なものですので、内容は貸借対照表と同様ですので、説明は割愛します。

最後に、監査報告書については、5月1日、午後1時30分から監査会を開催し、2監査の意見として、事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果として、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認める旨の監査報告書を提出していただきました。

以上が収支決算書関係の説明です。

説明は以上です。

○松岡議長（理事長） 説明は終わりました。質疑等がございましたらお願いいた

します。

(質疑なし)

○松岡議長(理事長) それでは、本件について、原案のとおり、可決することに御異議ございませんか。

(異議なし)

○松岡議長(理事長) 御異議ございませんので、本件については、原案のとおり可決いたします。

第5号議案 役員候補者の総会推薦について

○松岡議長(理事長) 次に、第5号議案 役員候補者の総会推薦についてを議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○先灘事務局長 次に、第5号議案 役員候補者の総会推薦については、定款第23条第1項の規定により総会の決議によって選任する役員の候補者について、令和7年4月24日に開催された理事及び監事候補者選考委員会において、次の第22期役員候補者名簿のとおり選考されたので、これを総会に推薦することについて、理事会の決議を求めるものです。なお、理事及び監事候補者選考委員会委員は名簿のとおり13名で、任期は令和9年度定時総会終了時までとなります。

理事候補者は13名で、うち地域班から9名、女性部から1名、特別会員1名、関係団体2名です。また、新任が内浜班の本池実様と関係団体の日吉津村福祉保健課長の矢野孝志様の2名です。塚田理事と矢野様については、公益法人法の改正による外部理事に該当します。なお、社会福祉協議会からの推薦については、都合によりございません。なお、再任の方についての説明は割愛します。

次に、監事は2名で、関係団体の米子市会計管理者の有馬康恵様が新任となります。また、吉津監事は再任となります。有馬様については、公益法人法の改正による外部監事に該当します。

説明は以上です。

○松岡議長(理事長) 説明は終わりました。質疑等がございましたらお願いいたします。

(質疑なし)

○松岡議長(理事長) それでは、本件について、原案のとおり、可決することに御異議ございませんか。

(異議なし)

○松岡議長(理事長) 御異議ございませんので、本件については、原案のとおり可決いたします。

第6号議案 会員表彰及び役員表彰について

○松岡議長(理事長) 次に、第6号議案 会員表彰及び役員表彰についてを議

題といたします。事務局から説明をお願いします。

○先灘事務局長 次に、第6号議案 会員表彰及び役員表彰については、表彰規程第8条の規定により、会員表彰該当者と役員表彰該当者について理事会の決議を求めるものです。

まず、表彰規程第5条の規定により、センターの会員として20年以上在籍し、基準日以前3年間においてセンター就業規約に基づく就業実績があった者と、センターの会員として10年以上在籍し、基準日以前3年間において就業実績があった者に対し表彰するものです。20年については9名の会員が、10年については9名の会員が会員表彰該当者です。

次に、表彰規程第4条の規定により、役員として4年以上在任し、任期満了により退任する者に対し表彰するもので、表彰該当者は2名です。

承認をいただいた暁には、5月30日の定時総会で表彰状又は感謝状の伝達をさせていただきますと思っていますので、よろしく願いいたします。

説明は以上です。

○松岡議長（理事長） 説明は終わりました。質疑等がございましたらお願いいたします。

（質疑なし）

○松岡議長（理事長） それでは、本件について、原案のとおり、可決することに御異議ございませんか。

（異議なし）

○松岡議長（理事長） 御異議ございませんので、本件については、原案のとおり可決いたします。

●その他

○松岡議長（理事長） 最後に、5 その他について、事務局から説明をお願いします。

○先灘事務局長 まず、令和7年度定時総会は、5月30日（金）午後1時30分、米子コンベンションセンター・小ホールにて開催します。次に、令和7年度理事会開催予定は、第2回が10月8日（水）、第3回が令和8年3月23日（月）を予定しています。説明は以上です。

○松岡議長（理事長） その他御質問等はございませんでしょうか。

（質疑なし）

○松岡議長（理事長） ないようですので、以上で令和7年度第1回理事会を閉会いたします。

10 閉会 午後2時18分

公益社団法人米子広域シルバー人材センター定款第39条第2項の規定により、
記名押印する。

令和7年5月21日

理事長(代表理事) 松 岡 勉

副理事長(代表理事) 矢 倉 英 雄

監 事 吉 津 秀 樹